# Wilms10M

300418

□要

□明

Wilms10M□胞株は、Wilms腫瘍（腎芽腫）患者の転移性肺結節から樹立された。原発腫瘍である Wilms10Tと同様に、Wilms10M□胞株はWT1遺伝子のホモ接合性欠失によって特徴付けられ、その結果WT1タンパク質が完全に欠損している。 WT1は正常な腎臓の発生に必須であり、その欠失は、特に転移性において、より攻撃的な腫瘍の挙動と関連している。さらに、Wilms10M□胞は、IGF2遺伝子を含む11p15染色体領域でヘテロ接合性の欠損（LOH）を示し、これらの□胞の悪性化にさらに寄与している。
ウィルムス10M□胞は、WT1領域の特異的欠失を除けば、主要な染色体再配列のない安定した核型を維持している。転移組織に由来するこの □胞株は、ウィルムス腫瘍の転移を促進する分子機構を研究する上で特に貴重である。この □胞は間葉系の特徴を示し、ビメンチンなどのマーカーを発現する一方、サイトケラチンなどの上皮性マーカーを欠き、これは腫瘍の間質成分に由来することを示している。
Wilms10Mに関する研究は、これらの転移 □胞で活性化されるシグナル伝達経路に焦点を当てている。プロテオーム解析により、 IGF1R ′ PDGFRβ ′ AXLを含むいくつかの受容体チロシンキナーゼ（RTK）の活性化が証明され、これらは □胞の生存、増殖、転移能の促進に関与している。下流の MAPKおよびPI3K/AKTシグナル伝達経路も活性化され、Wilms10M□胞の浸潤性および転移性の表現型の維持に重要な役割を果たしている。ウィルムス 10Mは、その転移性起源を考えると、ウィルムス腫瘍の転移の根底にある分子事象を理解し、転移性疾患に対する標的治療戦略を開発するために不可欠なモデルである。

| | |
|---|---|
| ティッシュ | 腎臓 |
| 病気 | ウィルムス腫瘍 |

用途

In vitro□胞培養モデル生化学的研究

同義語

- Wilms10

分類

| | |
|---|---|
| 生物 | 人間 |
| セックス | 女性 |
| 成長特性 | アドヘレント |
| バイオセーフティレベル | 1 |

特徴

| | |
|---|---|
| 形態学 | スピンドル型 |
| 細胞の種類 | ウィルムス□胞 |

識別子

引用

Wilms10M（Cytionカタログ番号300418）

| | |
|---|---|
| **NCBI** 納税者番号 | 9606 |
| セロサウルス | CVCL_A5SL |

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

## 発現と感受性

### 変異プロファイル

WT1変異の状態：11p13欠損内にホモ接合性のWT1欠損。LOH：11p13にはないが、11p15にUPDあり。 CTNNB1変異の状態：ホモ接合性TCT欠損、p.DS45´UPD 3p

## 取り扱いと飼育

### 培地

MSCGMキット（ロンザ社製）

| | |
|---|---|
| 培養雰囲気 | 37℃´5%CO2、加湿雰囲気。 |
| 解離試薬 | アキュターゼ |

### 継代培養

接着した□胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3-5ml´T75フラスコでは5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコでは1-2ml´T75フラスコでは2.5mlのアキュターゼで□胞を完全に覆う。室温で8-10分間インキュベートし、□胞を剥離させる。インキュベーション後、□胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、300xgで3分間遠心する。上清を捨て、□胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

### 解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

## 品質管理と凍結保存

### 無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

| | |
|---|---|
| 凍結培地 | 凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。 |

### 保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

### 配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

## 寄付者

| | |
|---|---|
| ドナーの年齢 | 2年 |
| 民族 | 白人 |

## 法務・安全

### 安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

### 保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

| | |
|---|---|
| 物質移転契約書の締結が必要 | Yes |

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB